

次世代の保全業務にむけて

◆ITソリューションと共創

これまでの保全業務は、利益を生まない分野として捉えられ、日の目を見ない、あまり報われない業務でした。近年、大量生産・大量廃棄が見直され持続可能な循環型社会への要請が高まると、設備の長寿命化を実現し、人工物のライフサイクルエンジニアリングの一端を担う重要な役割へと変化してきました。その一方で、実務の現場では依然として「経験と勘頼り」の業務が行われており、「事後保全から予防保全への転換」「データに基づく根拠ある分析・評価」と「設備の超寿命化^(*)」「技術者の育成」や「ノウハウの共有」など、次世代の保全業務として実現しなければならないテーマも多くあります。

近年、ITシステムは、技術の進歩が目覚ましく、タブレットやビッグデータ、AI、IoT、クラウドなど、現場での利用も既に現実的になってきています。これらのITシステムの活用により、課題解決の実現性・スピード感がより高められると考えます。

弊社は長年培ってきた「保全業務の知識とITシステムの技術の融合ノウハウ」から、次世代の保全業務の課題をITシステムで解決すべく、設備保全ITソリューション「究極の保全シリーズ」をリリースいたします。

このシステムでは、設備保全業務全般をITシステムで包括的に管理、連係させ業務支援を行います。蓄積されたデータを分析・活用することで設備の長寿命化、保全の高度化を目指すものです。まだまだ現場でのITシステム活用はこれからの分野と思いますが、最新IT技術を駆使して、皆さまと共に果敢にアプローチしてゆきたいと考えております。

Screen shot

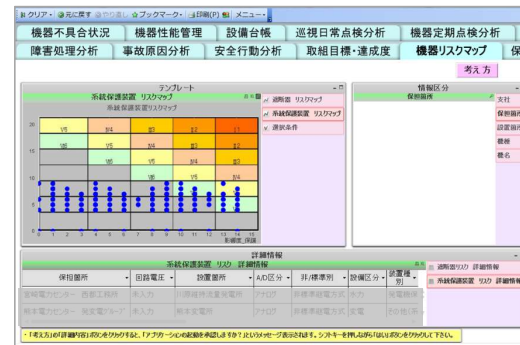
画面イメージ サンプル

◆多彩な機能

画面イメージの一部をご紹介します。

設備台帳（機器一覧）

作業管理（作業計画）



評価分析（機器リスクマップ）

月次点検（タブレット）

(*)1) メーカー保証期間を超えて、ユーザーエンジニアリングで設備を使い続けること。

(*)2) EAST2は弊社開発のクラウド型システムです。

(*)3) iPad、Android端末、Windows端末が選択することが可能です。

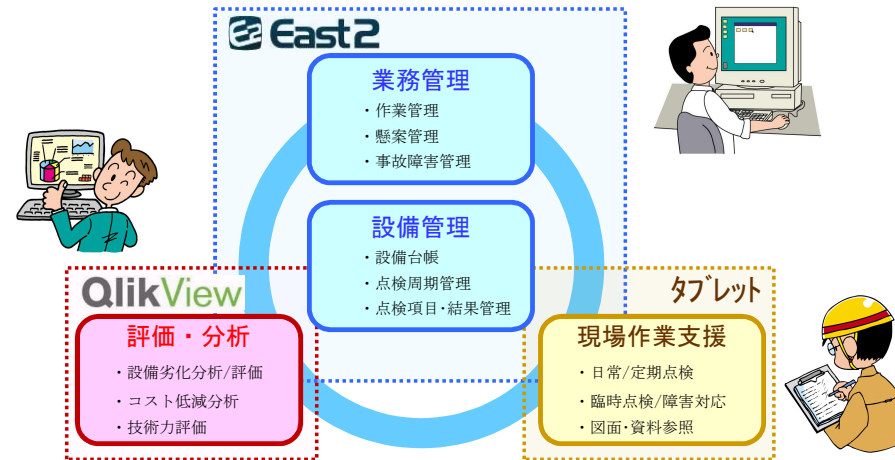
(*)4) QlikView は、Qlik Technologies Inc.の商標または登録商標です。

(*)5) BI (Business Intelligence) ツール: データ分析を通じた意思決定支援ツール。

「究極の保全シリーズ」

◆利用目的に応じたソリューション

「究極の保全」シリーズは、設備管理機能と業務管理機能を有する **East2**^(*)2) を中核に、タブレット端末^(*)3)上で動作する現場支援機能。蓄積されたデータを **QlikView**^(*)4) などBIツール^(*)5)を使って活用する評価・分析機能から構成されるソリューションです。



機能一覧

各システムの主要機能一覧です。

システム	機能	内容	備考
設備管理	設備台帳	設備台帳／沿革履歴	
	点検周期管理	点検周期管理／点検実施管理	
	点検項目・結果管理	点検項目管理／点検結果管理	
業務管理	保全計画	保全方針策定／保全計画／予算策定	Coming Soon
	作業管理	作業件名管理／作業計画／配員計画／作業実績管理	
	実施手続き	作業指示／各種申請	Coming Soon
	懸案管理	懸案登録／経過管理／対応管理／懸案消込	
	事故障害管理	事故障害受付／事故障害実績管理／対応状況管理	
現場作業支援	日常／定期点検	タブレット端末対応	
	臨時点検／障害対応		
	図面・資料参照		
評価・分析	設備劣化分析／評価	BIツール活用	
	コスト低減分析		
	技術力評価		

サービス一覧

ご提供サービスの一覧です。価格につきましてはお問合せください。

サービス	概要	備考
SaaS ^(*7) 提供	「究極の保全」シリーズのITシステム機能を、利用者数に応じた、月額サービス利用料にて、インターネットを通してご提供いたします。ソフトウェアはもちろんのこと、サーバの運用・保守もサービスに含まれています。	インターネットへの接続環境や、利用パソコン等につきましてはお客様のご準備となります。
カスタマイズ	「究極の保全」シリーズのITシステムを、お客様の業務に合わせてカスタマイズいたします。項目や機能、帳票類の追加や別システムとの連携が可能です。	
導入支援	「究極の保全」シリーズ導入時に、データ移行や、初期データの整備、利用者への説明会などをご支援いたします。また、導入後の定着化や、ヘビーユーザ向けの高度利用教育もご支援いたします。	
プロトタイプシステム開発	お客様の業務にあわせたプロトタイプシステムを開発いたします。アジャイル方式 ^(*8) での開発になりますので、早い段階でのシステム化効果を評価いただけます。	

(*6) SaaS(Software as a Service): 必要な機能を必要な分だけ提供できるようにしたソフトウェアもしくはその提供方法。

(*7) アジャイル方式: 短いサイクルで反復的にソフトウェアの開発を行い、利用者のフィードバックを受ける開発手法。

お問合せ



株式会社 キューキエンジニアリング
Kyuki Engineering Corporation

〒810-0004
福岡県福岡市中央区渡辺通り5丁目14番12号南天神ビル5階
TEL:092-761-2441 FAX:092-761-2524
URL: <http://www.keng.co.jp/>

設備保全ITソリューション

究極の保全 シリーズ

— Plant Maintenance IT Solution “ U-HOZEN Sereise ” —

次世代保全業務の実現を目指して

ITシステムを活用した、設備保全業務管理ソリューション